

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科:	教養学部国際学科		学年(※留学時)	3 年
留 学 先:	国:	タイ	大 学 / 機 関:	タイモンクット王ラカバ ン大学
期 間:	2024 年 2 月 12 日 ~ 2024 年 3 月 9 日			
	短期		計 1 ヶ月	

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスの人数: 約 30 人

担当の先生: タイ人か日本人の先生が各授業 1 人

授業方法: 座学、グループワーク、課外授業など

使用教材: 大地、先生が事前に用意したスライドなど

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

放課後は、大学内で週に 4 回市場が開かれていたので、そこで夜ご飯を買って食べていた。生徒たちが、放課後の遊びやご飯に誘ってくれることもあり、お勧めの観光地や食べ物、お土産などを教えてくれたり、お互いの国のことについて会話ができた。休日は、バンコク市内を電車で移動して観光地を回ってショッピングしたり、車を出してもらいアユタヤやパッタヤーにも観光にいたり、ショッピングしたりしていた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

学校内にある食堂やカフェ。タイではカフェが駅構内やショッピングモール、町中など、至る所にあるので、大学内にも至る所に設置してある。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1 部屋 2 人で使用

様子: シングルのベッドが 2 つに、鍵付きのロッカーが 2 つ、冷蔵庫が 1 つ、シャワーとトイレ、デスクが 2 つ置かれていた。クーラーも設置されていて、機能にも特に問題はなかった。部屋の鍵もオートロックで、カードキーだったので持ち運びもコンパクトで楽だった。

海外派遣留学生

留学報告書

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

留学(インターン)中に最も楽しかったことは、タイの学生たちと交流できたことです。日本語を学んでいる生徒たちで、一番高い子でN2の日本語レベルを有している生徒もいたほど優秀な生徒たちだったので、お互いの国についての共通点であったり、逆に正反対の部分や、学校についての話であったり、多くの情報を共有できて、お互いに仲を深めることができて、すごく良い経験になり楽しかったです。関わった生徒のほとんどとInstagramなどの交換もできたので、日本に戻ってきた今でも繋がっていて、とても嬉しいと感じています。

● 苦労したこと:

苦労したことは、英語が通じなかったことです。タイは観光産業が国を支えているといっても良いほど観光業が発展しているので、英語を日常的に使っているかと思っていました。しかし、実際にタイで生活してみるとタイ語以外話せないといったタイ人が多く、特に市場などで買い物がかしたいときにはタイ語しか通じない場合が多く、苦労したように感じました。(有名な観光地であれば英語・日本語・中国語・韓国語は通じる場合もある。)

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

タイでは、生活の中で基本的に使用される言語はタイ語です。しかし、私は日本にいる際にタイ語を勉強していなかったもので、「ขอบคุณ」と「สวัสดีค่ะ」しか分からなかったです。そんな中で、交流のあった生徒や日本人の先生などが、場所やシチュエーションなどによって使えるタイ語や発音を少しずつ共有して下さったおかげで、屋台や市場での買い物、タクシーで目的地を伝えることなどはできるようになりました。

2) 専門知識の向上:

日本語教育に関して、ほとんど無知で何も知らずに留学に行ってしまったのですが、一緒に留学(インターンシップ)した先輩方や、現地にいる日本人の先生、富田先生が支えて下さったことで、どのように日本語を発音したら聞き取りやすいのか、日本語を使って仕事をしようとした際に、どのくらいのレベルを有していた方が良いのかなど、基本的な日本語教育の部分に触れることはできたと感じています。

3) 自己成長など

自ら話しかけに行くという点で成長できた部分が大きいと感じています。今まで私が訪れたことのある国は、どちらかというと向こうから話しかけてくれる様な人々が多かったのですが、タイ人はどちらかというと国民性が日本人と近く、とくに若い世代だとシャイな人たちが多かったので、コミュニケーションを取りたい場合はこちらからタイ語で声をかける必要性がありました。受け身でいるだけでは得られないものも多いと思う一方で、恥ずかしかったり、緊張してしまったり、怖さを感じる部分も多くありました。ただ、例えば拙いタイ語であったとしても、コミュニケーションを取りたい姿勢を見せることをするだけで、現

海外派遣留学生

留学報告書

地の方々からの見られ方も変わってくると思うので、自ら話しかけに行くという部分で少しは成長できたのかなと感じています。

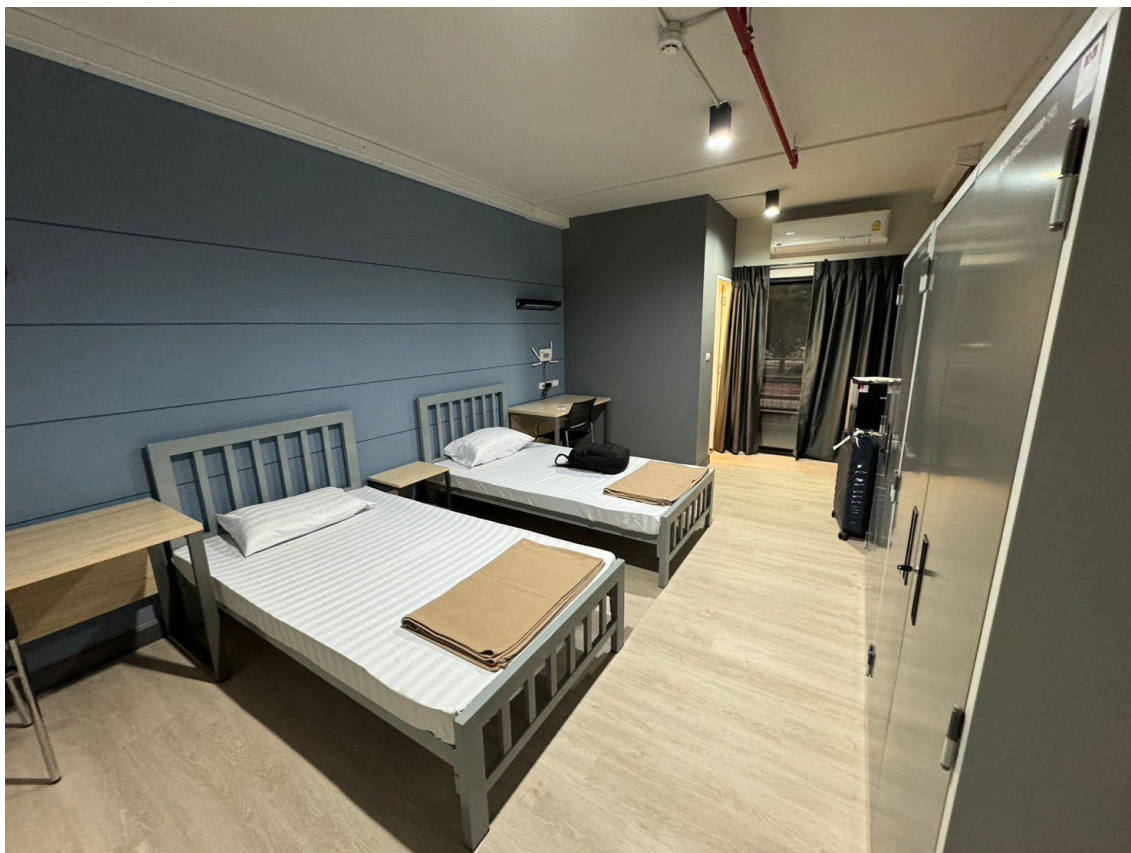
[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

行ってみたいと思うのであれば、絶対に挑戦してみた方が良いと思います！ぜひ留学してみてください！日本にいただけだと気づくことのできない日本の良さや、反対に直した方が良い部分など、多くのことに感じるができると思います。特に東南アジアへの留学はイメージしやすい部分も多いと思いますが、だからこそ留学できることへの価値も高いと思うので、ぜひ挑戦してみてください！！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	20 万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	3 万円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	9 万円
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	3 万円
その他()	
留学に関する費用の総額	35 万円

海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書

